

ともに生きる

@okayama みんなの校則

放送日:2023年3月2日 放送時間:25分



対象校種 中学校・高校

対象教科 学級活動・公民・生徒会活動

この番組の良さ



● 生徒主体の学校づくりを目指す

本番組は、岡山県立興陽高等学校の現状の校則に疑問をもつ生徒たちが、300日間にわたる校則改革に打ち込んだドキュメントです。

生徒会を中心に全校生徒が一丸となって取り組む姿勢は、まさに主体性を育む活動であり、壁にぶつかりながらも協働でその課題を乗り越えようとする姿は、将来、企業等でチームとして働くための必要不可欠な力となってきます。

「ブラック校則」という言葉が、時代の変化とともに広まり、校則改革が各県、各校で進められています。「自由って何だろう?」、「個性って何だろう?」と考え、意見を交わし、一つの方向性を導きだしていく生徒会の活動は、教科の授業だけでは学べない貴重な体験的な学びであり、生徒主体の学校づくりを推進しています。

● 校則の男女差から考える

番組では、ある男子生徒が、男だからとか女だからなど性別による校則の基準に疑問を持ち、性別にとられない校則を作りたいと思うようになります。企業へのアンケート調査で、「男女別ではない校則の必要性について」は賛同率が15%であり、生徒会の生徒たちはまだまだ社会の認識の大きな壁を痛感します。

社会課題として、また人権学習の教材として本番組を活用することで、学びの可能性が広がり、ジェンダー平等な社会を目指す意識の醸成につながります。

番組活用のポイント

● 生徒自ら校則を見直す

番組では冒頭に、『校則が時代の変化とともに時代遅れとなってきた』とナレーションされます。今を生きる自分たちの校則を自分たちで変えていく生徒たちの取り組みが始まります。

まずは生徒代表が学校へ、『なぜ校則が厳しいのか』を尋ねます。番組で紹介された興陽高校は専門高校であり、卒業する生徒の半数以上が就職希望であり、『社会での即戦力となる生徒を育成することが学校の使命だ』と説明を受けます。これを受け、「企業は校則についてどのように思っているのか」という視点からアンケートを作成し、企業への回答を依頼します。「男女差のない校則の必要性について」の賛同率は15%しかありませんでした。生徒たちは壁にぶつかります。生徒会で何回も検討し、先生と協議の場を設け、全校生徒へ思いや趣旨を伝えます。

このような一連の活動が生徒会を中心として進められることで、生徒主体の学校づくりについて意識も高まり、自分たちの成長を実感できることでしょう。教科の授業だけでは学べない体験的な学習の教材として、生徒主体の学校づくりの実践事例として、校則の見直しに取り組む先駆的な取組事例として、本場組を活用されるとよいでしょう。

● 人権教育の教材として

番組では数人の生徒が主人公の様に取り上げられ、各自の思いが映像を通して伝えられます。その中の一人、大下準之介(仮称)さんは校則で男女の髪形やルールが分けられていることに違和感を抱き、校則の男女差をなくす活動に取り組みます。

ジェンダーレスの考えにより、「新しい制服」や男女共通の制服を導入する学校も増えてきました。番組では制服だけでなく、髪型についても取り上げ、校則について男女の基準をなくすことに企業や地域の思いなど様々な意見が出てきます。大下準之介さんは、『生徒同士の協議の中で、男女差のない校則への改編については温度差を感じます。生徒を守るための校則なのであれば、個人の感性を尊重してほしい』という思いを活動にぶつけ、悩み、奮闘する姿が番組では描かれています。



執筆者
大分県立大分商業高等学校
教頭 森 浩三

学習展開例

校則は必要なのか?自分たちで作上げる ルールを自ら守る姿勢を考える。


対象校種

中学校・高校

対象教科

学級活動・生徒会活動

【授業時間 50分】 まるごと視聴

| 児童の思考と活動の流れ | 教師の支援と評価 |
|--|---|
| <div style="text-align: center;"> <p>『必要』 集団が行動を共にするうえで最低限守るべきもの</p> <p>『どちらともいえない』 一部現在の社会に合わないものもあるのでは</p> <p>『必要なし』 理不尽な校則は個人の尊厳を傷つける</p> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>校則はほんとに必要なのだろうか?</p> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>番組視聴(まるごと視聴) 校則の必要性について考える</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【必要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の方や弁護士を巻き込んで、先生と協力して自分たちで校則を作っているのがすごい ・校則の男女差について考える必要があるのでは・・・ ・様々なトラブルなどから身を守るためにも必要だと思う <p>【どちらともいえない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで校則改編する以上、ルールをしっかり守る必要がある ・就職などの面接で求められる姿が頭髪服装の基準かもしれないが、校則に縛られるのは・・・ ・番組内では男女差のない校則を取り上げているが、多様性も考えないといけないと思う ・生徒を守るための校則なのであれば、個人の感性を尊重してほしい <p>【必要なし】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校則は時代遅れ 生徒の間でも温度差を感じる ・髪型や服装を決められること自体がおかしいと思う ・一部おかしいと感じる点を協議して、必要に応じて改編したら・・・ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>一部を改編してでも必要。 就職すれば会社のルールがあるように、自ら考え、行動できる大人になるためにも大切だと思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 30%;"> <p>校則がないと、集団で生活する学校内でのお互いの配慮やマナーなど、自主的に考えて行動しなければならぬと思う。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>他者の意見を聞いて自分の考えをまとめなおす。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>時代の進展や社会の常識などを踏まえ、校則のおかしいと思う点を、先生方と協議して新しい形を作っていくことは大切だ。 自分たちの意見が学校づくりにつながっている。 自ら作ったルールを自ら守ることはとても大事なことだ。</p> </div> <p>校則を新しく作ったり、変更したりしている他校の事例を調べてみたい。 番組内で男女差のない校則の改編についての取り組みがあったけど、これから多様性を尊重する社会として成長するためにも、まずは私たちが考えていかないといけないと思う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・校則はなぜ必要か自分の考えを聞く。 ・校則が作られた背景を考えてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・番組をまるごと視聴し、高校生が自分たちで校則を作り上げていく様子から、校則の必要性を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな感想を持ったか数人に聞いてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の方の意見や、弁護士の話などを踏まえ、あらためて校則の必要性について考える場面を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・考えをまとめ全体で意見交換する。 ・先生方との協議がルール作りの上で重要であることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・校則の必要性等について考えることで、各自が学校づくりに参画していることの自覚を促す。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分たちで学校づくりをしている意識をもって、学習活動に主体的に取り組めたか。</p> |